

絶頂に耐える

一輪の花

痴漢電車編

村々人





しかも複数で……

三人くらいに  
触られたと思います

躊躇なく  
触ってくるのが一人と、  
あとの二人は  
便乗でしょうか

周囲にバレないための  
壁の役割だったのかも  
知れませんが

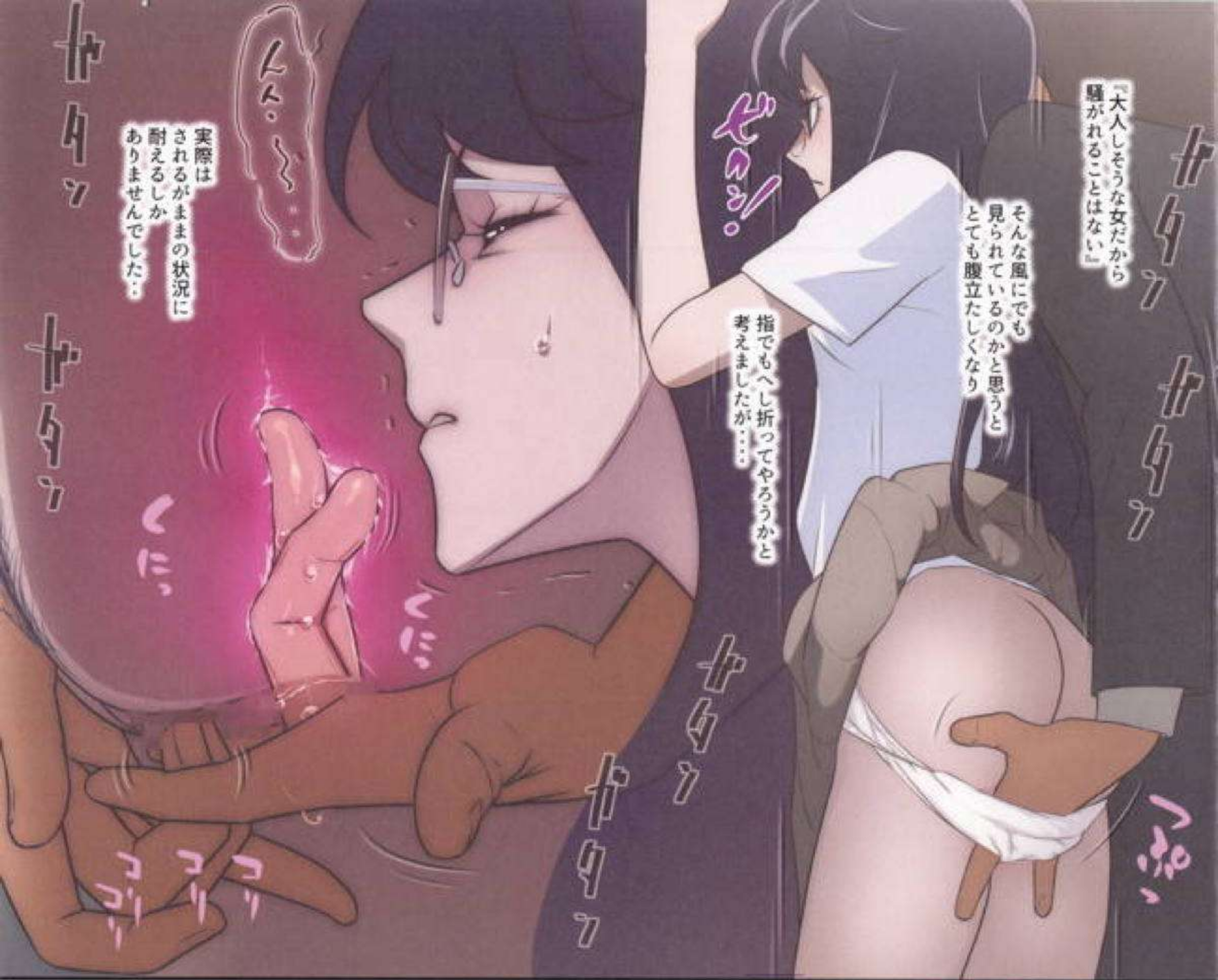


電車での移動中、  
痴漢に遭遇しました



電車は減多に  
使わないので  
よくわかりませんが……

こんなにも  
ズケズケと  
体を触ってくるとは  
思いませんでした



「大人しそうな女だから  
騒がれることはない」

そんな風にも  
見られているのかと思うと  
とても腹立たしくなり

ゼッ!

指でもへし折ってやろうかと  
考えましたが……

実際は  
されるがままの状況に  
耐えるしか  
ありませんでした……

カクカク  
カクカク

カクカク  
カクカク

カクカク  
カクカク

シビ



なぜなら  
主犯格の男には  
心当たりがあり……

躊躇のない  
痴漢行為は、  
今日の目的の  
延長線上であるかのように  
思われ……

カクカク  
カクカク

カクカク  
カクカク



そして私は  
誰のものかも  
わからない指でも  
股を濡らしてしまう

卑しい女  
なのです……

カクカク  
カクカク

カクカク  
カクカク

ヌクッ

カクカク

私の呼吸が乱れ、  
体が高ぶっているのを察すると

主犯格の男は  
さらに行方を  
エスカレートさせて  
いきました

固く怒張した  
男性器が  
私の粘膜を前後し、  
熱を伝えて来ます

男の亀頭が姿を  
のぞかせるたびに、  
ヌラヌラとした  
てかりを増して  
いきます

動かずに耐えていると、  
股間からの情報のみが  
脳を反響し続けます

クチャクチャという  
いやらしい音が  
尾てい骨から伝わってきます

惨めさと  
恥ずかしさで  
思考が鈍り

顔の熱さが  
男への怒りから  
なのかも曖昧です

「まさか  
こんな場所で」

「でも  
こんな場所  
だからこそ」

「だから  
しばらく我慢すれば  
済む」

そんな甘い考えが  
あったと思います

だから  
ペニスを挿入された瞬間、  
身体を走り抜けた  
感覚に……

頭と体が  
服従して  
しまいました

嬌声をこらえるのが  
精一杯の……  
しかしそれは抵抗ではなく、  
行為の継続を望むものであり……

：そのあとは  
電車の揺れに合わせた  
もどかしい振動に  
長い時間  
揺られていました

動けなくなる  
停車時間が  
とても長く感じました

周囲が誰一人  
動かない状況で、  
お尻をすりつけたくて  
仕方ない自分を  
必死で抑えます

そして  
『早く動いて』と  
願うのです

声を出しそうになる度に、  
回復する自制心が  
情けない私を  
責め立てます

その度に  
私の下腹部は  
だらしなく  
震傑きます

そうして男達に  
囲まれたまま、  
何駅  
通過したのか  
わかりません……



気づけば  
扉の前に移動しており、  
私はガラスにおっぱいを  
押し付けた状態でした

移動する電車の  
窓の内の一つとはいえ、  
きつと何人かには  
気づかれた筈です

もしかしたら  
もっと多くの人に、  
もしかしたら  
私を知っている人に  
……

まもなく  
〇〇駅に  
到着いたしますー



人のまばらな  
駅のホームに  
痴態を晒して……

私は男の射精と共に  
イキました……

はぁー



……私は電車内で  
痴漢男と  
セックスをしました

私と男の  
ぐちゃぐちゃに混ざった  
体液が  
膣から溢れて  
内腿を伝います



「……なんで俺がやる前にマンコ汚してんだよ? ああ!」

「これ信用問題だよ? ホテルだって予約してるんだからねえ?」

じい

「お仕置きが必要かな? 誠意を見せてもらわんとねえ?」



「……男は私の制服の裾でペニスを拭くと、次の駅でさっさと降りていきました」

そして別の男が私に話しかけてきました



「ゆりちゃん困るよ、今日のお客様はボクなんだから」

「なのに、見ず知らず男と痴漢プレイ始めちゃってさ」



「もしかしてアイツを今日の客と勘違いしてたから無抵抗だったとか?」

「ただの痴漢にタダ乗りで中出しまでされちゃったねえ」

「顔も知らない男と待ち合わせて体を売って怖いね」



「ホテルに着くまで発情マンコ維持してもらおうから」

前戯無しでプチ込んであげるよ



「多少のムチャは覚悟してよね」

つづく…?



「さて、それじゃ行くっか? たっぶり見せつけられたから今日は燃え上がっちゃうよ?」





発行所・書籍ムカヅキパブリッシング  
印刷所・錦栄光

2018年8月12日 第1刷発行  
2018年8月18日 第2刷発行  
hholenmidecomb@msn.jp